

柔道整復科の近況報告

呉竹医療専門学校 柔道整復科
科長 川口 央修

日中の暑さは盛夏を思わせる毎日ですが、残暑の中にも少しずつ秋を感じられるようになりました。前回のご報告からは一つの季節が通り過ぎてしまいましたが、ご父兄の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのこととご推察申しあげます。

さて、過日にはなりますが8月18日(日)の猛暑の中、27名のご父兄に本校までご足労を賜り、保護者会を実施させていただきました。ご出席いただいた保護者の皆様におかれましては、この場を借りて厚く御礼を申しあげます。当日は学校説明会を兼ねた公開講座も開講しており、卒業生の体験談を通じて資格取得から開業までの柔道整復師像をイメージしていただけたのではないかと思います。

つきましては、今回の保護者会にご参加いただけなかった皆様に、また当日ご参加いただいた皆様へは確認の意味を含めて、保護者会の内容についてのご報告をさせていただきます。今回ご出席いただいたご父兄の皆様には、当該学生の1期の成績個票ならびに出席状況をまとめたレジュメをご配布させていただきましたが、幸いなことにほとんどのご父兄は既に成績個票をご覧いただけているとのことでした。そして、前回のご報告でもご案内申しあげました本校の出席の取り扱いの基本方針についての理解をいただき、科目によっては単位数が変わるため、出席率の算出方式が異なるなどの留意点をお伝えさせていただきました。

また、成績個票については平均点と比較することによって苦手科目が抽出できることや、科目によっては2期ならびに3期で十分に挽回することができるシステムであることをご説明させていただきました。この出席率と成績には正の相関があることは言うまでもありませんが、柔道整復師国家試験の独特な合格の判定基準について解説させていただき、近年の国家試験合格率の推移と絡めて、3年間を通してクラスメイトと良好なチームワークを築き続けることが出来たクラスの合格率が高いことや、卒業後に柔道整復師として医療機関に従事する際や施術所を営む上で、患者と接する際にも学生時代に培ったコミュニケーション力は必要不可欠であることをお話しさせていただきました。

その後の懇談の中では、柔道整復師としての資格使用率や就職に関する情報提供についてのご質問をいただきました。これらのご質問に関しては、学園事務局を中心に各校のOB会などの協力を得て、順次情報提供の場を整備していく予定となっております。

いよいよ夏季休暇も終わりましたが、例年のこの時期には1期の成績が芳しくなかった学生を対象に個別面談を実施しております。2期からは選択科目が開

講し、学校行事も多いことから、あっという間に期末試験を迎えてしまいますので、教務では学習支援対策として、週2回の補習を実施して成績の向上をサポートしたいと考えております。最後になりますが、これからも柔道整復科教務にご理解とご鞭撻を賜り、有意義な学生生活を過ごされるよう、更なるご支援とご協力を宜しくお願いいたします。